

伝えよう山形の宝！ やまがた食の甲子園

- やまがた食の甲子園実行委員会は、山形県内の高校生が地元の「食」を学ぶことにより、食育に取り組む意識を醸成するとともに、地域の食文化の継承につなげていくことを趣旨として、料理のアイデアを競うコンテストを実施している。
- コンテストにより示された地域食材や伝統料理の新たな活用方法が、家庭や地域で継承されることで、優れた日本型食生活の普及や、食育のより一層の促進が期待される。
- おいしい山形の食と文化を考える会、やまがた食育ネットワーク、山形県農業協同組合中央会、山形県等が「やまがた食の甲子園実行委員会」を構成し主催している。



【取組の内容】

次代を担う山形県内の高校生が地元の食材や食文化を学び、新しい料理のアイデアを競うためのコンテストを実施している。調理技術を競うのではなく、地域固有の食の歴史と、食文化の多様な広がり学ぶことを大会の趣旨としている。



<募集テーマ>

県内に伝承または生産されている入手可能な食材を使用した創作料理により構成された日本型食生活にふさわしい献立

<競技内容>

- 料理のいわれや食材などについて調べたことを発表する「プレゼンテーション」
- 実際に料理を作る「調理実技」



【取組の成果】

地域に伝わる伝統食材や郷土料理等を調べることにより、食文化が若い世代へ継承されるほか、料理のアイデアを考案することを通じて食への関心が向上し、食文化や日本型食生活の普及啓発にも繋がっている。

食生活の習慣が乱れがちになる高校生が、食文化やバランスの良い日本型食生活について見直すきっかけとなっている。

<参加者アンケート結果抜粋>

ほとんどできている16.1%
おおむねできている53.4%
合計69.5%

